タカラ電気温水器

取扱説明書

保証書別添

深夜電力８時間（通電制御型）／時間帯別電灯（通電制御型） 切替型

角型（配管内蔵）

ＥＭ-1514Ｋ-Ｒ　ＥＭ-3014Ｋ
ＥＭ-2014Ｋ-Ｒ　ＥＭ-3714Ｋ
ＥＭ-2014Ｋ　ＥＭ-4614Ｋ

丸型

ＥＭ-3713Ｓ
ＥＭ-4613Ｓ
ＥＭ-4713Ｓ
ＥＭ-5613Ｓ

※角型電気温水器は、漏水検知仕様もございます。漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。
このたびはタカラ電気温水器をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、お読みになった後は、工事説明書とともに、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

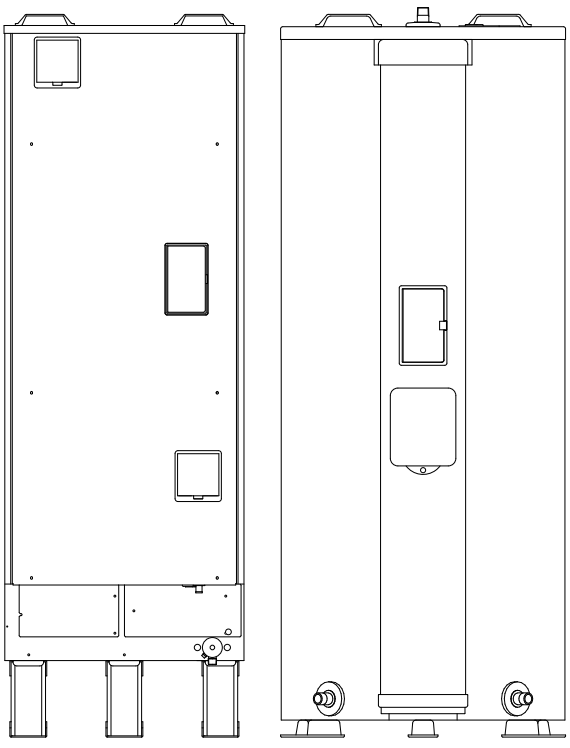
●保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。

お知らせ

・この電気温水器を時間帯別電灯契約で使用する場合、別売のコントローラ（コントローラＥＭ-1）が必要です。
・この電気温水器を深夜電力契約（8 時間）で使用する場合、ご希望により別売のコントローラ（コントローラＥＭ-1）を接続して使用することもできます。
・別売のコントローラ（コントローラＥＭ-1）をご使用の場合、操作方法など詳細は、コントローラＥＭ-1の取扱説明書で確認してください。

もくじ

・安全上のご注意 …… 1
・ご使用にあたってのお願い …… 4
・各部の名称と働き …… 5
・準備 …… 9
・湯温設定 …… 11
・おたすけコックの使いかた …… 13
・凍結予防のしかた …… 15
・使用しないときは …… 17
・日常のお手入れ …… 19
・停電、断水、水道工事のときは …… 22
・定期点検のおすすめ（有料） …… 23
・故障・異常の見分けかたと処置方法 …… 24
・アフターサービス …… 26
・仕様 …… 27
・よくあるご質問 …… 裏表紙



この温水器は申請により、通電制御型として料金割引が適用になります。
（契約電力制度によっては、料金割引がない場合もあります。）
ご使用の前に、必ず最寄りの電力会社営業所または据付工事店にご確認してください。
取替え設置の場合でも、忘れずに確認してください。
適用機種にはそれぞれ、右記のマークが表示されています。

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●表示と意味は、次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。	⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容。

●図記号の意味は、次の通りです。

	禁止行為（してはいけないこと） 絶対に行わないでください。		**行為の指示（必ずすること）** 必ず指示に従い行ってください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれる所に大切に保管してください。

⚠ 警告

●異常・故障時には、直ちに使用を中止すること

発煙、発火、感電、やけどのおそれがあります。
次のようなことがある場合、すぐに使用を中止し、故障や事故防止のため、販売店（据付工事店）または、修理受付フリーダイヤルに点検・修理（有料）をご相談ください。

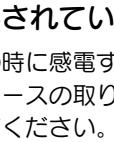
・使用中に、こげくさい臭いがしたり、異常な音や振動がする。
・設置場所が濡れている。
・お湯がぬるい。
・漏電しゃ断器が動作する。
・その他の異常・故障がある。

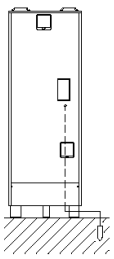
➡ P 26 アフターサービス

必ず実施

●アース工事されているか確認すること

故障や漏電の時に感電するおそれがあります。アースの取り付けは販売店にご相談してください。

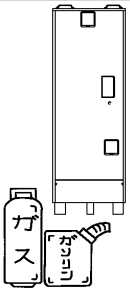

アース線接続



●温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと

発火することがあります。

禁　止



●漏電しゃ断器は、濡れた手で操作しないこと

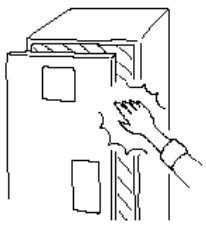
感電するおそれがあります。

禁　止

●前面カバーを開けないこと

感電のおそれがあります。

禁　止

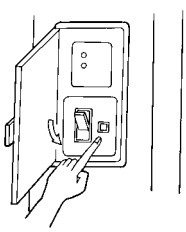


●漏電しゃ断器の動作を確認すること

漏電しゃ断器が故障のまま使用すると漏電時に感電するおそれがあります。

必ず実施

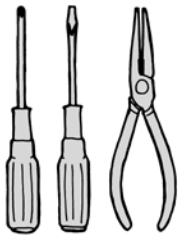
➡ P 21 日常のお手入れ



●絶対に分解・修理・改造しないこと

火災、感電、けがの原因になります。
修理は販売店にご相談してください。

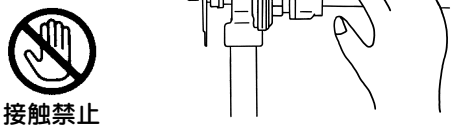
禁　止



⚠ 警告

●逃し弁点検時は、内部の配管・逃し弁排水管に手を触れないこと

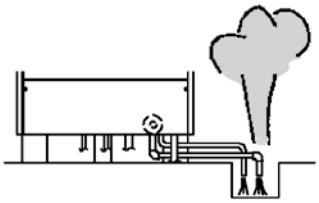
やけどすることがあります。



接触禁止

●給湯・排水時は熱湯に触れないこと

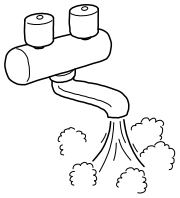
やけどすることがあります。



接触禁止

●使いはじめはやけどに注意すること

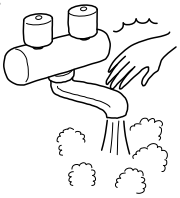
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散ることがあります。



接触禁止

●給湯時にはじゃ口（湯水混合せん）のハンドル以外の部分に手を触れないこと

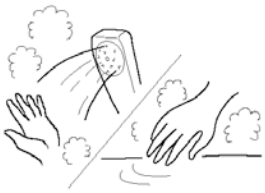
やけどすることがあります。



接触禁止

●シャワー使用時や入浴時は、最初に手で湯温を確かめること

やけどすることがあります。



必ず実施

●おたすけコックはタンクの湯温が下がってから使用すること

取水時に熱湯が出たり、ホースが熱くなるなどで、やけどすることがあります。

必ず実施

安全上のご注意

⚠ 注意

●そのまま飲用しないこと

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などにより水質が変わることがあります。
飲用される場合は、下記のことに注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてください。

・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
・あついお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は雑用水としてお使いください。
・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに販売店（据付工事店）へ点検の依頼を行ってください。

禁　止

●水道水を使用していることを確認すること

必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
井戸水、地下水、温泉水は使用できません。
水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれている水質や、酸性水質での使用はさけてください。
機器の詰まりや腐食など故障の原因となることがあります。

必ず実施

●特殊用途には使用しないこと

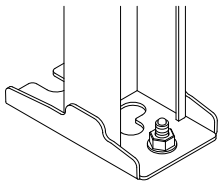
一般家庭の使いかた以外では使用しないでください。
能力不足や思わぬ電気料金がかかったり、製品の性能、品質低下や、寿命が短くなることがあります。

禁　止

●脚がアンカーボルトで固定してあるか確認すること

地震などにより本体が倒れてけがをすることがあります。

必ず実施



●床面が防水・排水処理されていることを据付工事店へ確認すること

水漏れが起きた場合、階下などに被害を及ぼすおそれがあり、大きな被害につながることがあります。

必ず実施

●逃し弁の点検をすること

タンクが破損したり、逃し弁などからの水漏れにより、やけどや大きな被害につながることがあります。

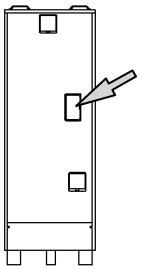
必ず実施

➡ P 21 日常のお手入れ

●本体操作部のふたは閉じておくこと

ショート、感電することがあります。

必ず実施

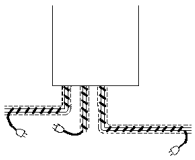


●凍結予防対策の確認をすること

凍結するとタンクや配管が破裂して、やけどや水漏れをすることがあります。

必ず実施

➡ P 15 凍結予防のしかた



●冬場に漏電しゃ断器の電源レバーを「切」にするときはタンクと配管内の水を確実に抜くこと

配管が凍結し、水漏れすることがあります。

必ず実施

➡ P 17 使用しないときは

●1か月以上使用しないときは電源を「切」にしてタンクの排水をすること

凍結のおそれや水質が変化することがあります。
1か月未満の使用しないときでも凍結のおそれがあるときは、排水してください。

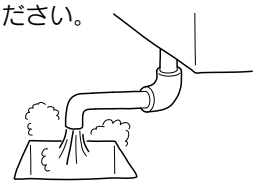
➡ P17 使用しないときは

必ず実施

●タンクの熱湯は直接排水しないこと

やけどや排水管を傷めることがあります。
お湯を使い切ってから排水してください。

禁　止



⚠ 注意

●機器の周りに落ち葉などがたまらないようにすること

虫などが侵入し、故障や発火、発煙の原因になることがあります。

必ず実施

●タンクを満水にしてから電源を入れること

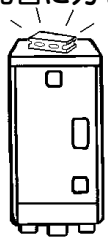
故障の原因になります。

必ず実施

➡ P 9 準備

●機器に乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えたりしないこと

事故、やけど、水漏れの原因になります。

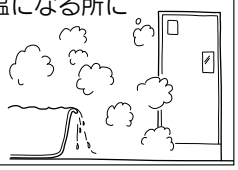


禁　止

ご使用にあたってのお願い

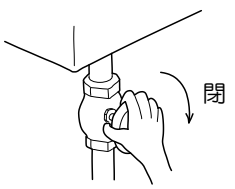
●温水器が浴室など湿気の多い場所に取り付けられていないか確認すること。

・感電、誤動作の原因になります。
・コントローラは、屋外や浴室などの湿気の多い場所やガス燃焼機器のそばなど高温になる所に取り付けないでください。
誤動作の原因となります。



●温水器の止水せんがどこにあるか確認すること

・タンク内の水抜き、万一の水漏れ、故障の際に閉じると水は止まります。
・ふだん温水器を使用しているときは開いておきます。



●夜間時間帯のご使用について

温水器は主に夜間時間帯にお湯を沸かします。そのため夜間時間帯にお湯を使用すると、翌日の湯量が少なくなったり、昼間に沸増しをして電気代が高くなることがあります。

●お湯を上手に使うこと

1日に使用できるお湯の量には限りがあります。
・お湯は容器に受けて使いましょう。
・シャワーは出し放しにしないでこまめに止めましょう。

●契約した電力制度を変更するときは、販売店へ連絡し、電気配線工事の依頼をすること

この温水器は時間帯別電灯契約と深夜電力契約切替タイプです。

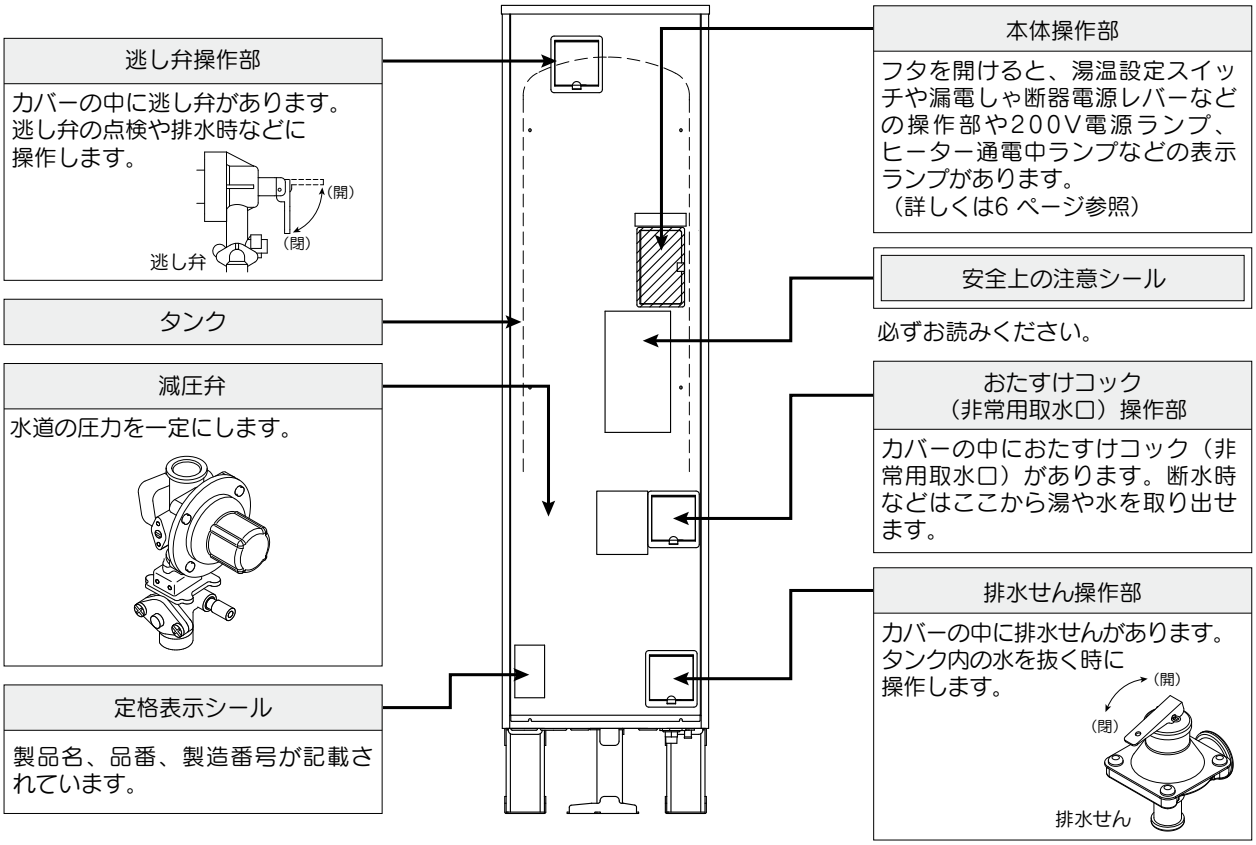
契約の電力制度に合わせて電気配線工事と温水器本体の設定を切替える必要があります。誤った設定で使用すると、電気代が高くなることがあります。

各部の名称と働き

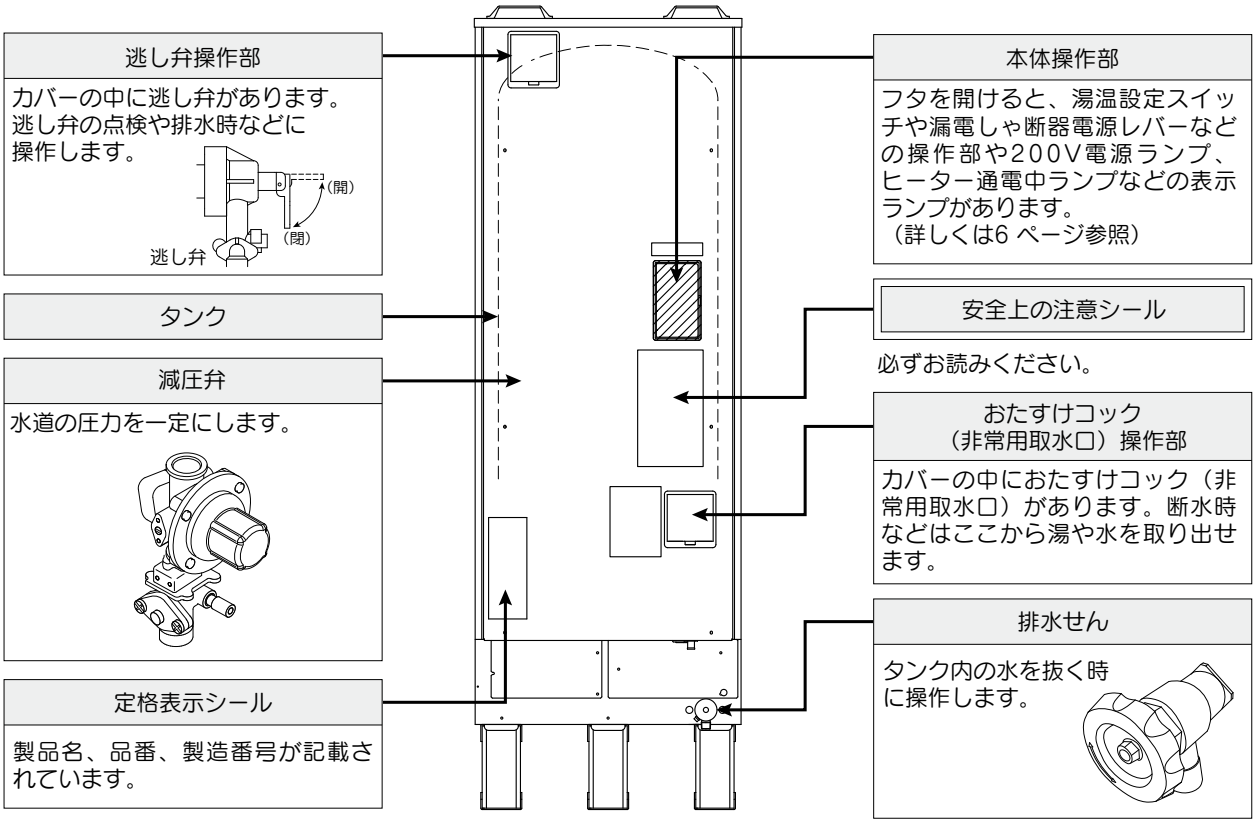
電気温水器本体

角型（配管内蔵）

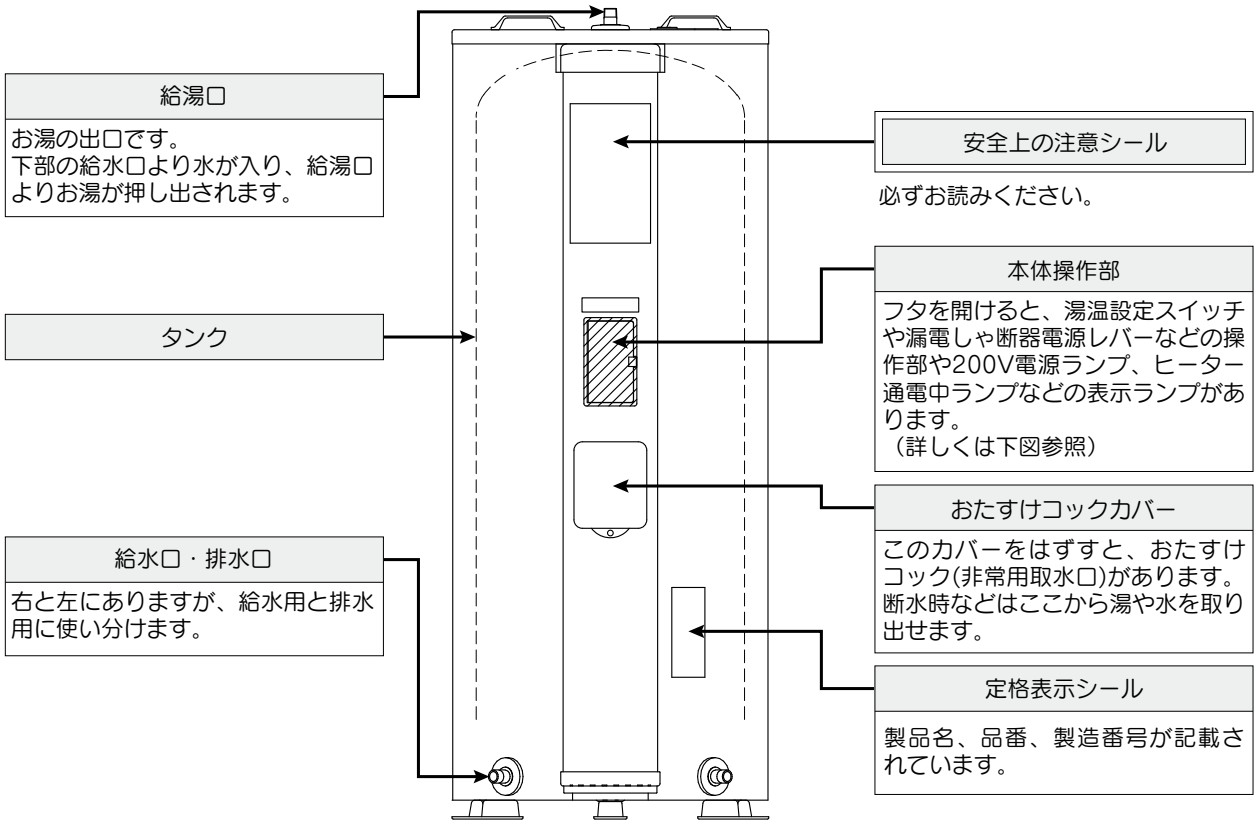
EM-1514K-R、EM-2014K-R、EM-2014K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。



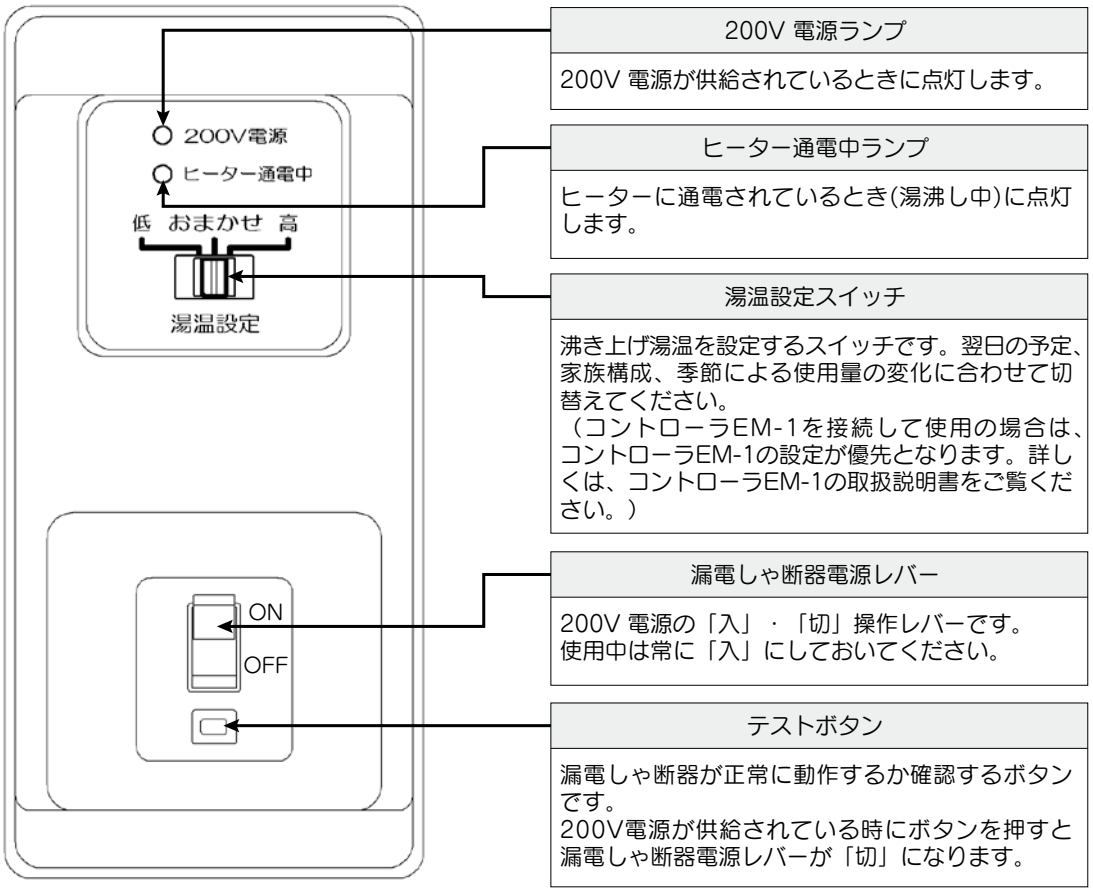
EM-3014 K、EM-3714K、EM-4614K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。



丸型


給湯口
お湯の出口です。
下部の給水口より水が入り、給湯口よりお湯が押し出されます。
タンク
給水口・排水口
右と左にありますが、給水用と排水用に使い分けます。
安全上の注意シール
必ずお読みください。
本体操作部
フタを開けると、湯温設定スイッチや漏電しゃ断器電源レバーなどの操作部や200V電源ランプ、ヒーター通電中ランプなどの表示ランプがあります。
（詳しくは下図参照）
おたすけコックカバー
このカバーをはずすと、おたすけコック(非常用取水口)があります。断水時などはここから湯や水を取り出せます。
定格表示シール
製品名、品番、製造番号が記載されています。

本体操作部


200V電源
ヒーター通電中
低 おまかせ 高
湯温設定
ON
OFF
200V 電源ランプ
200V 電源が供給されているときに点灯します。
ヒーター通電中ランプ
ヒーターに通電されているとき(湯沸し中)に点灯します。
湯温設定スイッチ
沸き上げ湯温を設定するスイッチです。翌日の予定、家族構成、季節による使用量の変化に合わせて切替えてください。
（コントローラEM-1を接続して使用の場合は、コントローラEM-1の設定が優先となります。詳しくは、コントローラEM-1の取扱説明書をご覧ください。）
漏電しゃ断器電源レバー
200V 電源の「入」・「切」操作レバーです。
使用中は常に「入」にしておいてください。
テストボタン
漏電しゃ断器が正常に動作するか確認するボタンです。
200V電源が供給されている時にボタンを押すと漏電しゃ断器電源レバーが「切」になります。

各部の名称と働き

本体据付図例

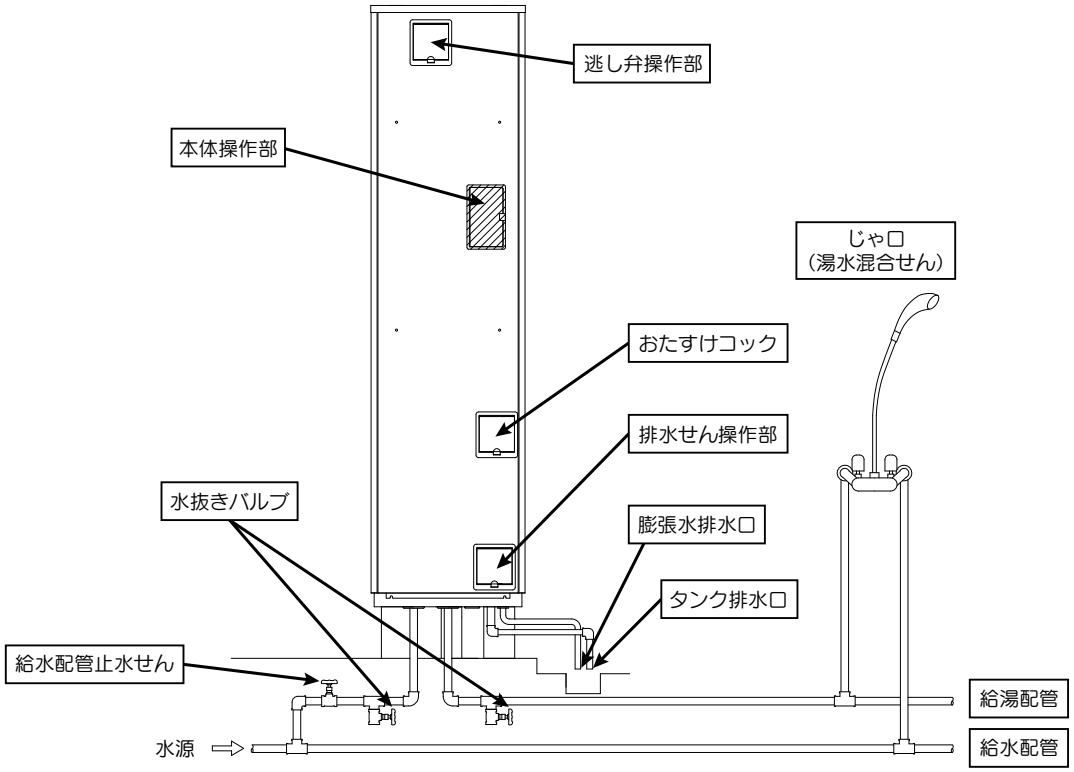
標準配管例
地域や設置場所により工事内容が若干異なることがあります。

タンク排水口 タンクの排水のときに、湯や水が出ます。
膨張水排水口 湯沸し時の膨張水が出ます。
給水配管止水せん 水源の「開」「閉」に使用します。

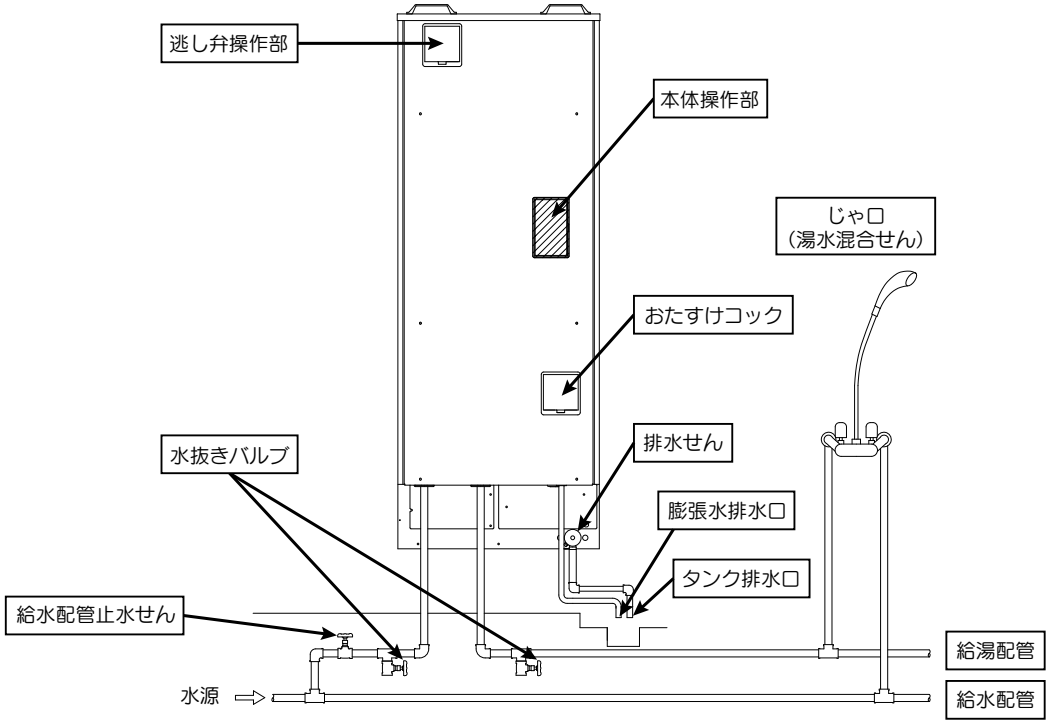
【お知らせ】
○湯沸し時は、膨張水排水口より、お湯（水）が少量出ますが故障ではありません。

角型（配管内蔵）

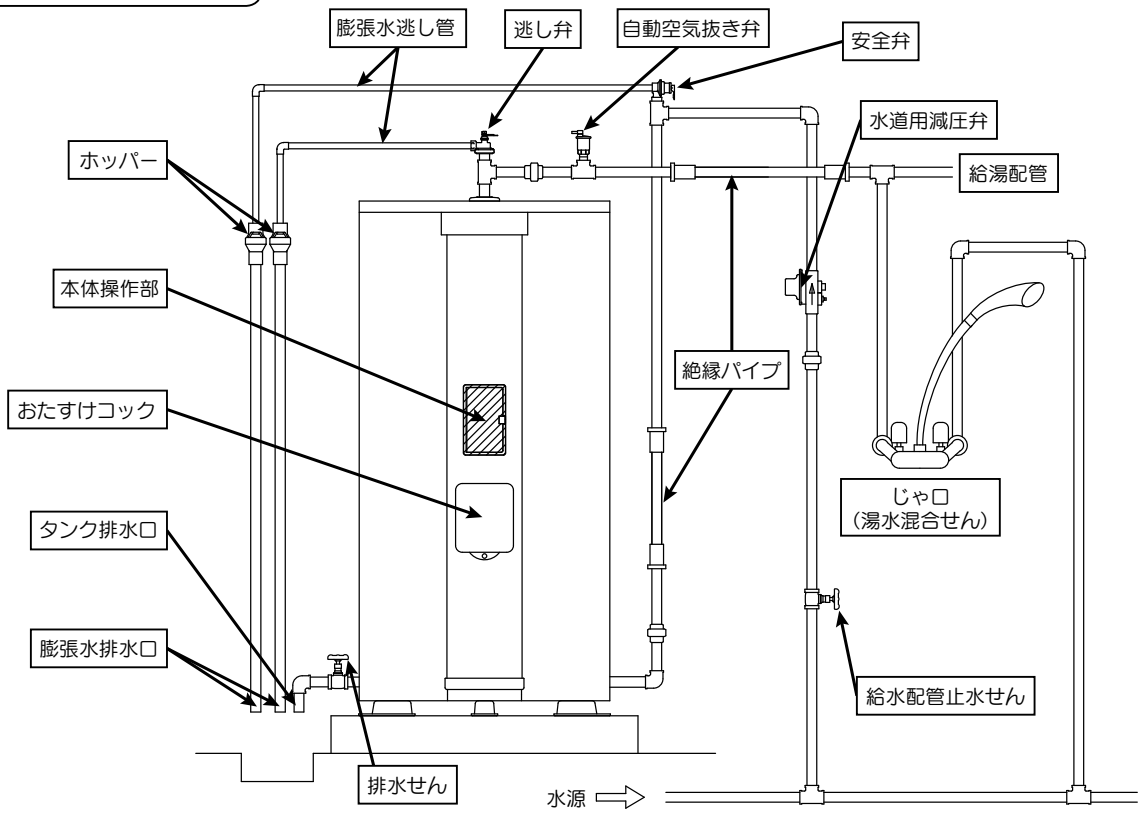
EM-1514K-R、EM-2014K-R、EM-2014K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。



EM-3014 K、EM-3714K、EM-4614K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。



丸型

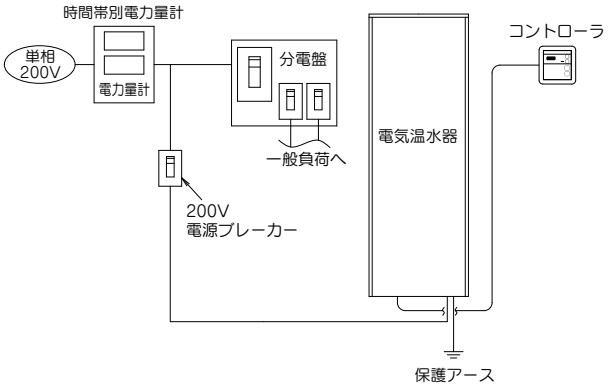


配線例

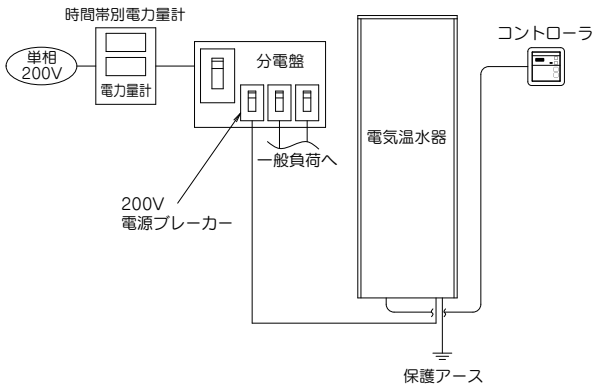
時間帯別電灯契約と深夜電力契約（8 時間）の電気配線例
電力制度及び電気配線回路は据付工事店に確認してください。

■時間帯別電灯契約

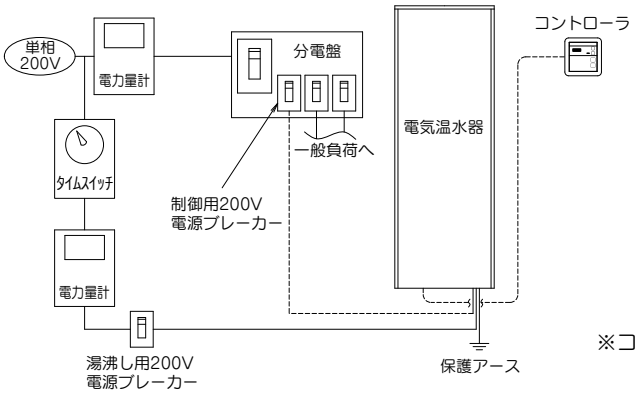
例 1



例 2



■深夜電力契約



※コントローラを接続する場合は、点線部分の配線も必要となります。

準備

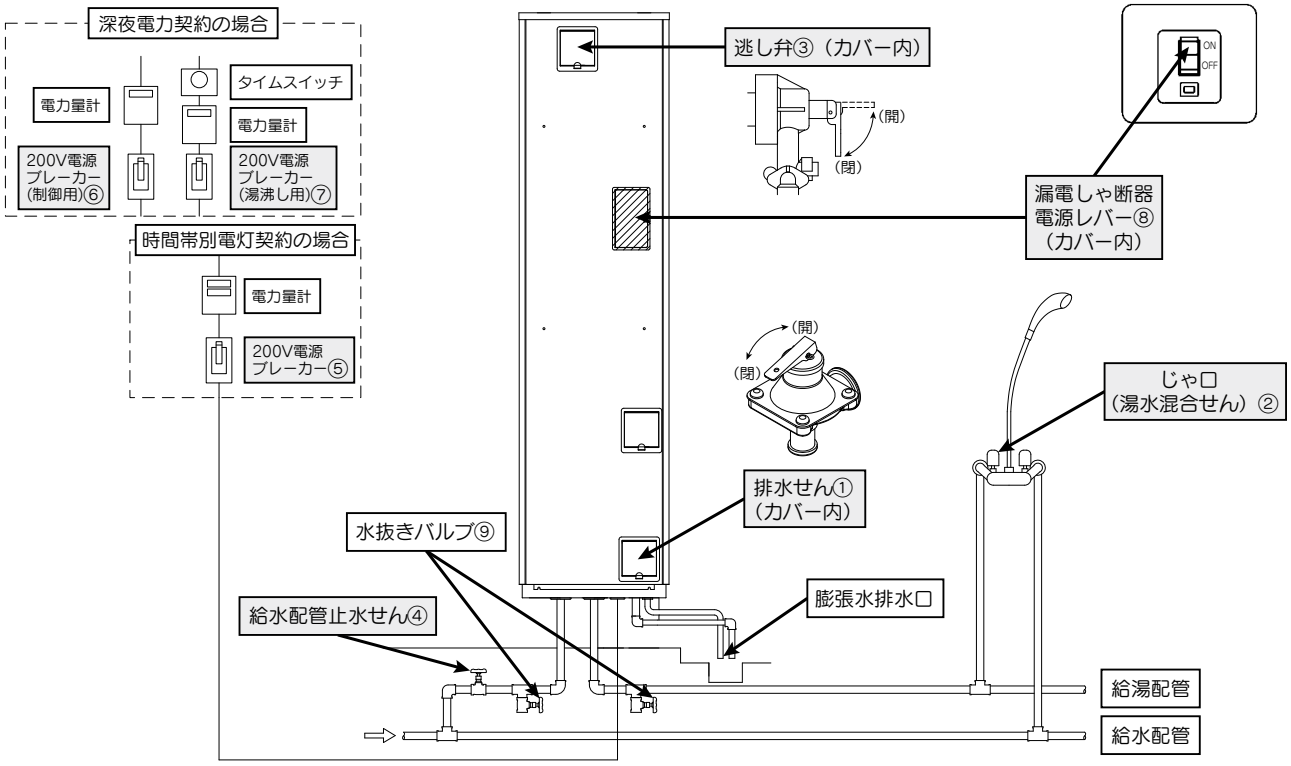
温水器の使い始めや、水抜き後に温水器を使い始める場合は、次の手順で操作してください。
方法が分からないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

⚠ 注意

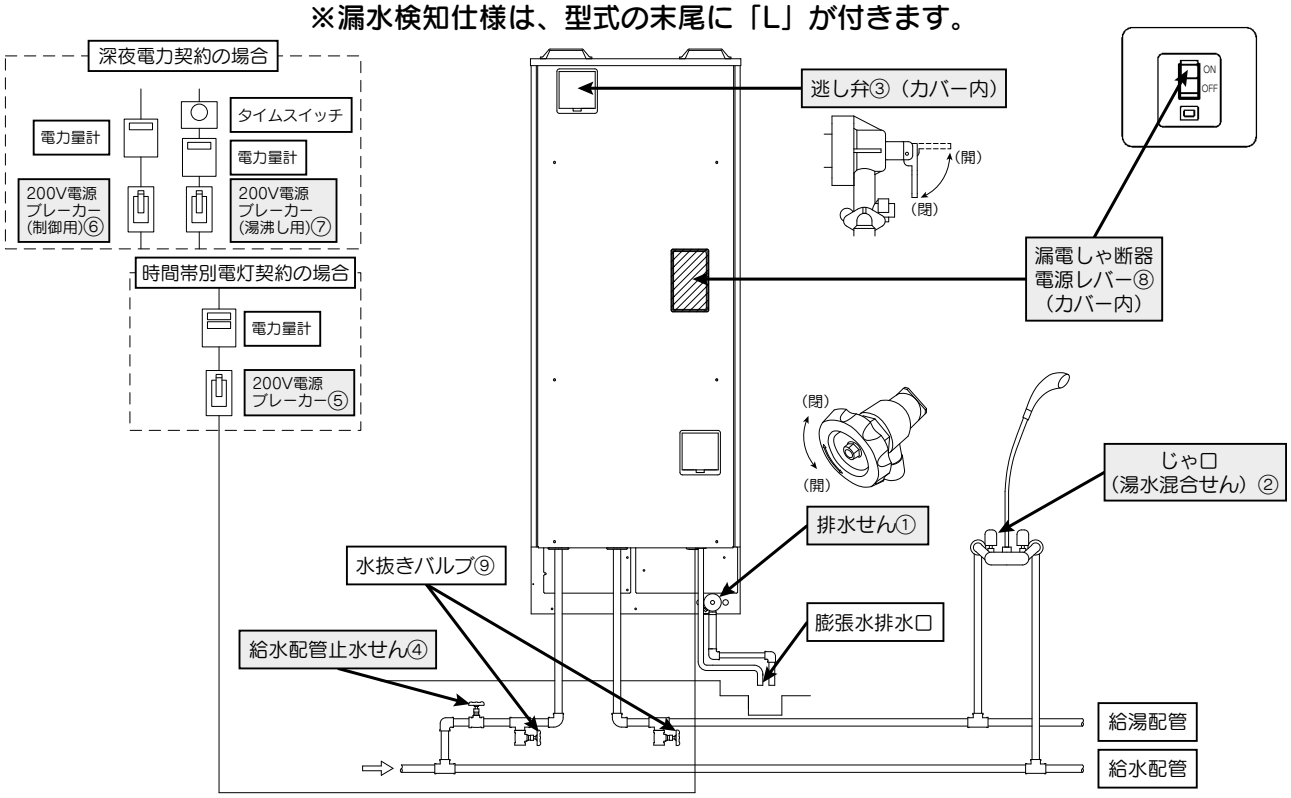
■温水器のヒーターへの通電は、タンクの満水を確認するまで絶対に行わないこと。過熱し故障の原因になります。

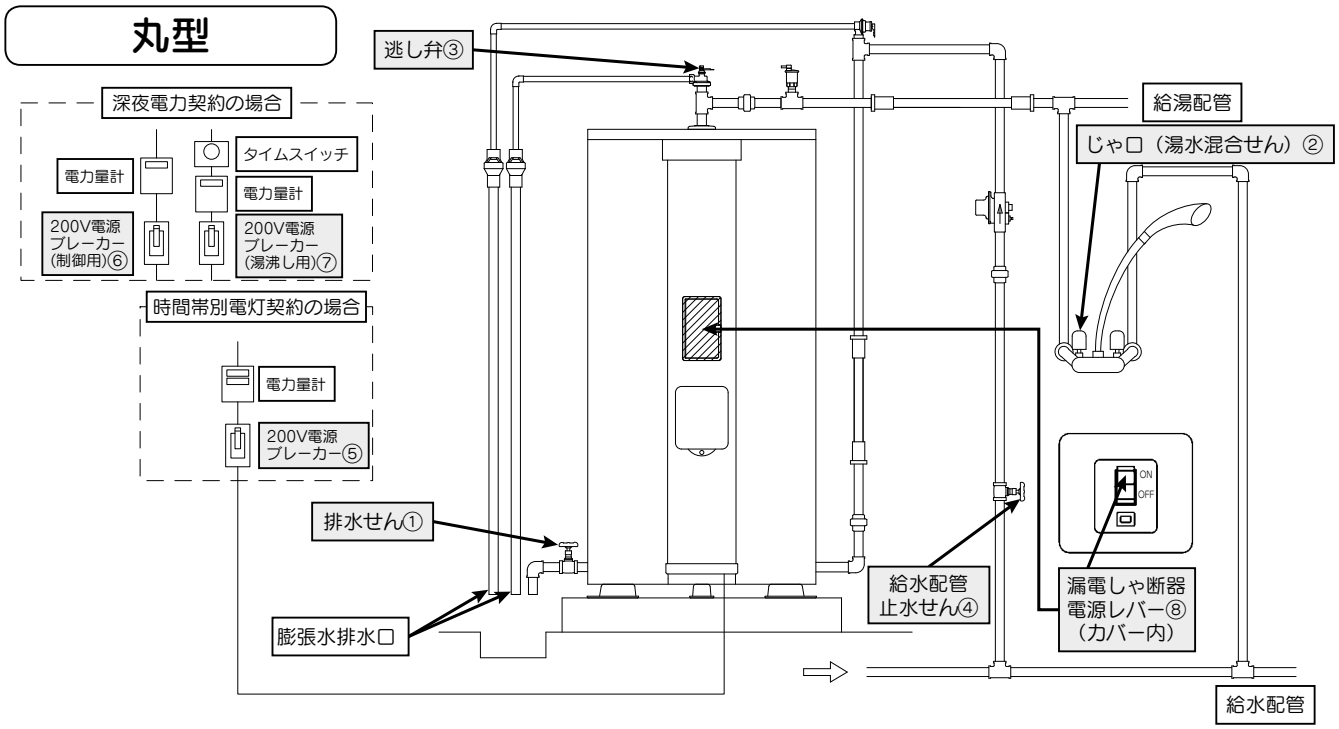
角型（配管内蔵）

EM-1514K-R、EM-2014K-R、EM-2014K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。



EM-3014 K、EM-3714K、EM-4614K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。





1 給水の準備をします。

1．**排水せん**①を閉じます。（使い始めなどですでに閉じている場合があります。）
2．すべての**じゃ口（湯水混合せん）**②を閉じます。
（開いていると給水に時間がかかることがあります。）
給水配管、給湯配管に水抜きバルブ⑨が設けられている場合は水抜きバルブ⑨も閉じます。

2 タンクを満水にします。

1．**逃し弁**③のレバーを上げます。（水抜き後ですでにレバーが上がっている場合があります。）
2．**給水配管止水せん**④を開きます。
3．膨張水排水口から水が勢いよく出てきたら、**逃し弁**③のレバーを下げます。
4．**じゃ口（湯水混合せん）**②を開けて、空気混じりの水から連続的に水が出ることを確認します。
（ワンレバー水せんやサーモ水せんなどの混合水せんの場合、お湯側全開に調節して、じゃ口（湯水混合せん）を開けます。）
5．**じゃ口（湯水混合せん）**②を閉じます。
（やけど防止のため、混合水せんの温度調節位置を低温側に戻してください。）

【お知らせ】
○タンクが空の状態から、満水になるまで約 30 分かかります。（機種により多少異なります。）
○給水中に膨張水排水口から水と空気が混ざりボコボコと音がすることがありますが、異常ではありません。水が勢いよく出るまでお待ちください。

3 電源を入れます。

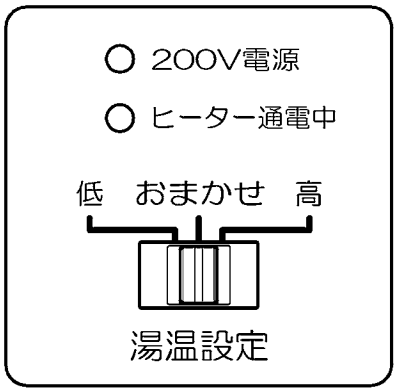
1．**200V 電源ブレーカー**⑤（深夜電力契約の場合は **200V 電源ブレーカー（湯沸し用）**⑦）を「入」にします。
（深夜電力契約でコントローラ接続時は **200V 電源ブレーカー（制御用）**⑥も「入」にします。）
2．温水器の**漏電しゃ断器電源レバー**⑧を「入」にします。

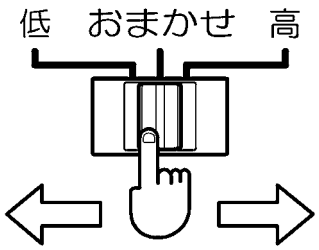
湯温設定

コントローラ EM-1 を接続して使用する場合はコントローラの設定が優先となります。
コントローラ EM-1 が接続されている場合は、コントローラ EM-1 の取扱説明書をご覧ください。

湯温設定はご家庭の湯の使用量に応じて切替えてください。

湯温設定スイッチで沸き上げ温度を設定します。





使用量に合わせお好みの湯温を選んでください。
・お買い上げ時は「高」になっています。

湯温設定	沸き上げ温度	特徴
高 （初期設定）	約 88℃	・初めて使う場合など、お湯の使用量目安をつけるときに便利です。
低	約 70℃	・維持費が少なくなりますが、湯切れする可能性があります。
おまかせ	約 70 ～ 88℃	・お客様の過去の使用量をもとに、最適な湯温で沸かします。

※沸き上げ温度は沸き上がり直後のタンク内温度です。時間経過とともに少しずつ低下します。
　また、沸き上がり温度は 2 ～ 3 ℃ばらつくことがあります。

【お知らせ】
○初回または停電復帰後のヒーター通電時は空焚きチェックを行います。

ご注意

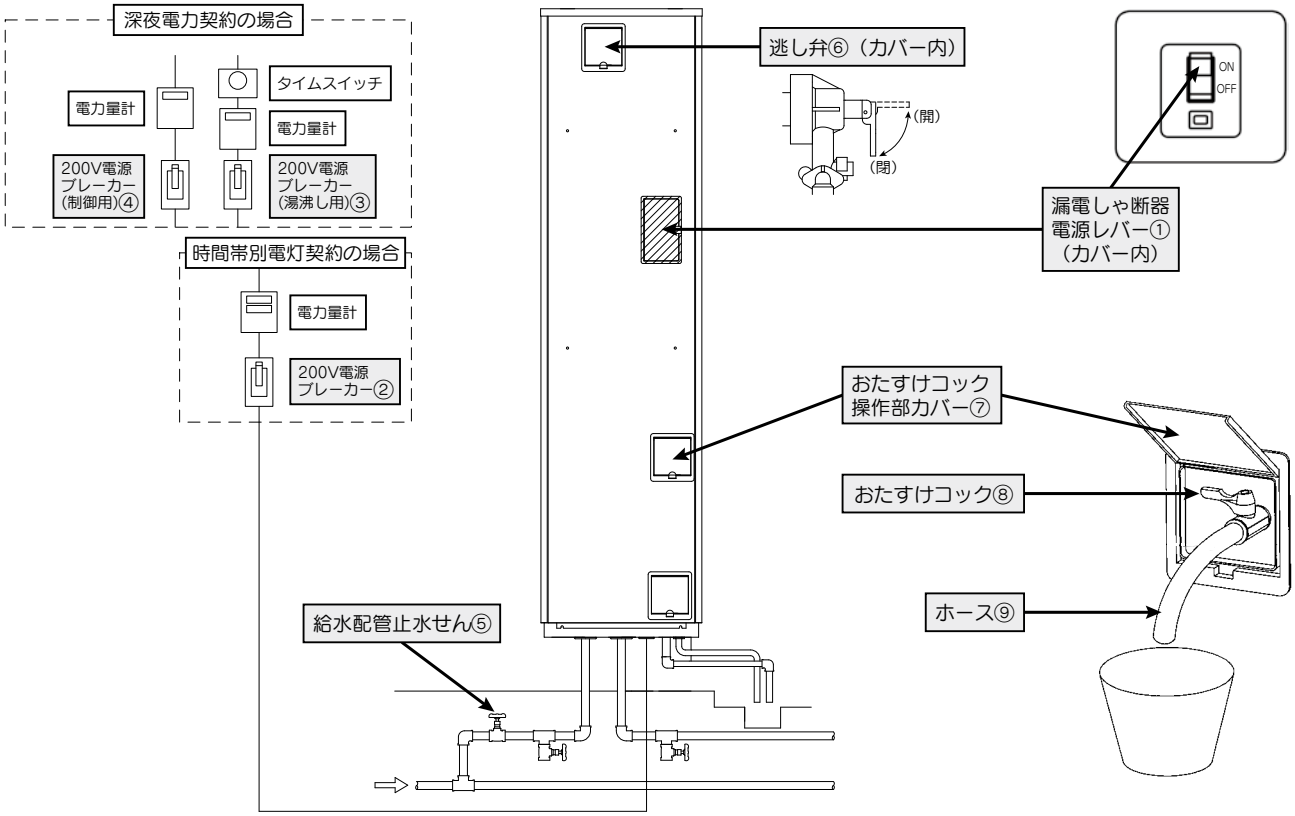
■来客などでお湯をたくさん使用すると、湯切れすることがあります。あらかじめ前日以前に「高」設定に切り替えてください。また、時間帯別電灯契約をされている場合は、コントローラで「沸増し」を設定することもできます。
■夜間時間帯に湯温設定を「高」に変更した場合は、湯温が設定温度より低くなることがあります。
■水温が極端に低く、残湯量が少ない場合に設定が「高」であっても沸き上がり温度が 88 ℃より低くなることがあります。
■夜間時間帯にお湯を使用した場合、設定温度まで沸き上らないことがあります。
■丸型電気温水器にソーラー温水器を接続して使用する場合は、湯温設定は「おまかせ」以外の設定を選んでください。「おまかせ」設定の場合、正確に使用量計算ができないため、沸き上げ温度が低くなり湯量不足になる場合があります。なお、角型（配管内蔵）電気温水器にソーラー温水器は接続できません。

おたすけコックの使いかた

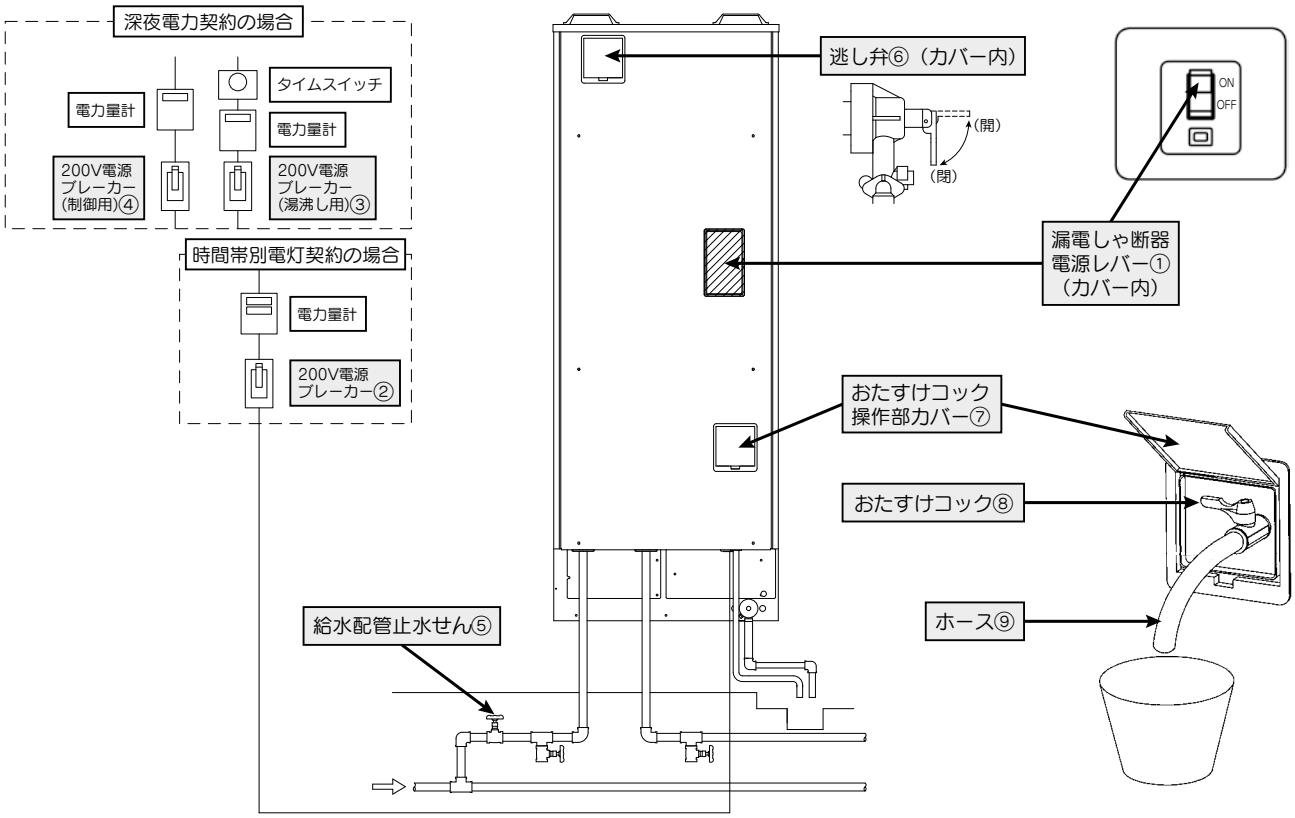
温水器の内部に、おたすけコックがあります。
万一の非常時にはおたすけコックからタンクの水（湯）を出して使用することができます。

角型（配管内蔵）

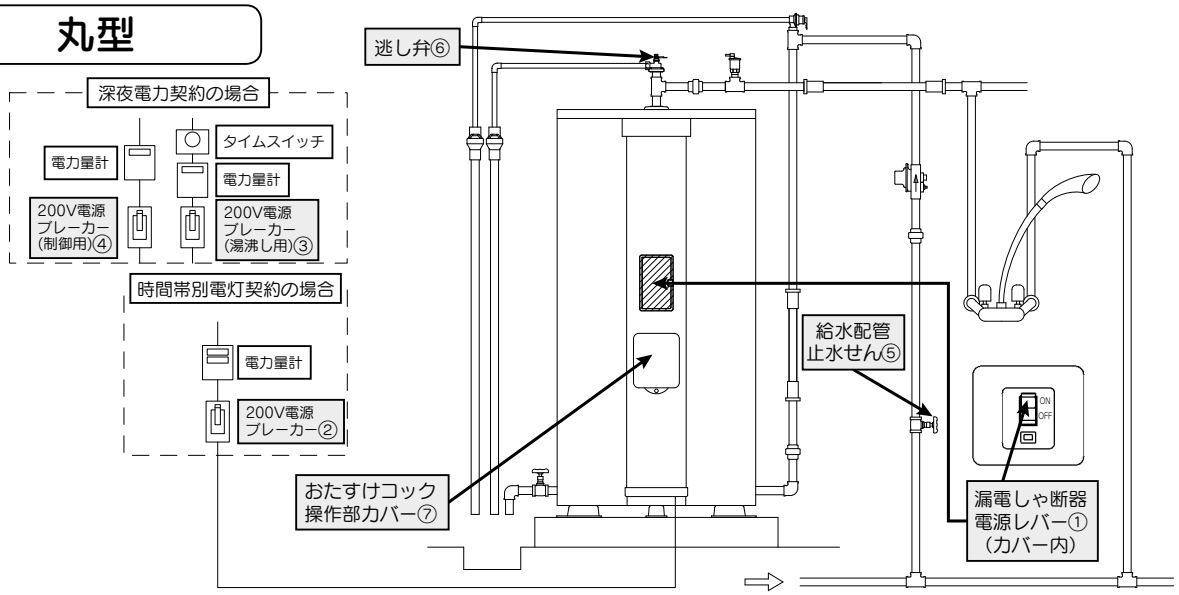
EM-1514K-R、EM-2014K-R、EM-2014K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。



EM-3014 K、EM-3714K、EM-4614K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。

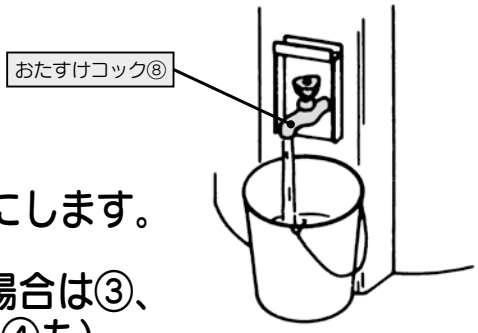


丸型



⚠ 警告

■おたすけコックから熱い湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。



1. 温水器の漏電しゃ断器電源レバー①を「切」にします。
2. 200V 電源ブレーカー②、(深夜電力契約の場合は③、ただしコントローラが接続されている場合は④も)を「切」にします。
3. 給水配管止水せん⑤を閉めます。
4. 逃し弁⑥のレバーを上げます。
5. 角型の場合、おたすけコック操作部カバー⑦を開けて、ホース⑨を引き出します。丸型の場合、おたすけコック操作部カバー⑦の下部にある止めねじをはずし、おたすけコック操作部カバー⑦を少し持ち上げるようにしてはずします。
6. 角型の場合はホース⑨の下、丸型の場合はおたすけコックの下にバケツなどを準備し、おたすけコック⑧を開けます。タンク内の水（湯）が出てきます。
7. 使用後、角型の場合、おたすけコック⑧を閉じ、ホース⑨から水（湯）が出ていないことを確認してからホース⑨を戻してください。
   丸型の場合、おたすけコック⑧を閉じ、おたすけコック⑧から水（湯）がでていないことを確認してください。
8. おたすけコック操作部カバー⑦を元に戻してください。

【お知らせ】
○温水器を再使用するときは ➡ P9 準備

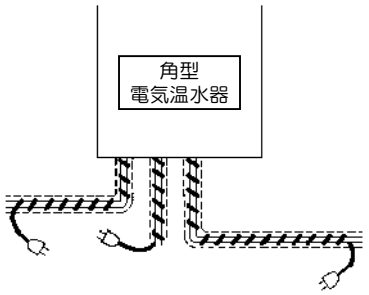
凍結予防のしかた

冬季は寒冷地だけでなく、温暖な地域でも思わぬ寒波で気温が０℃以下になることがあります。
配管が凍結すると温水器や配管が破損することがあります。地域にあった方法で凍結予防をしてください。
凍結予防方法は、いくつか方法があります。どの凍結予防方法で施工されているか据付工事店（販売店）にご確認ください。また、操作方法などが分からないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

角型（配管内蔵）

1. 凍結防止ヒーターを巻く方法

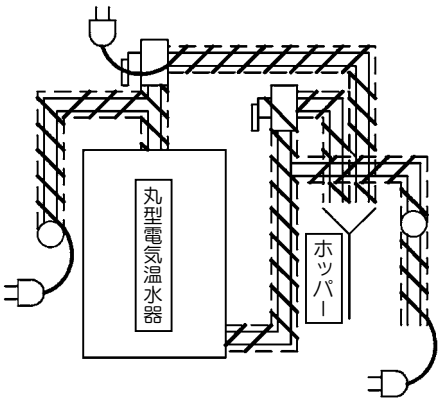
・配管に市販の凍結防止ヒーターを巻き、
　通電して凍結を予防します。
・寒冷時になる前に凍結防止ヒーターの
　差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。



丸型

1. 凍結防止ヒーターを巻く方法

・配管に市販の凍結防止ヒーターを巻き、
　通電して凍結を予防します。
・寒冷時になる前に凍結防止ヒーターの
　差し込みプラグをコンセントに差し込んでください。



2. 水を少量流し続ける方法（A）

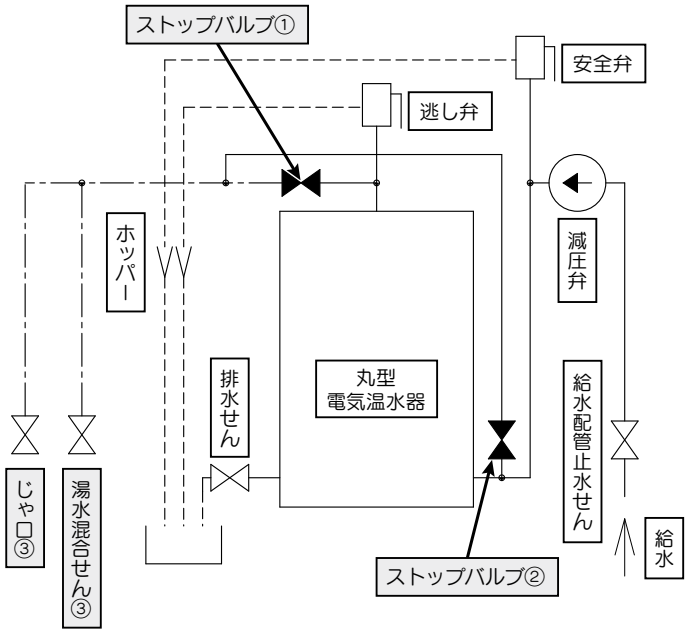
各じゃ口（湯水混合せん）を少しだけ開いて「糸引き」状態で水を少しずつ流し続けることにより配管内の凍結を予防する方法です。

1．**ストップバルブ**①を閉じ、次に**ストップバルブ**②を開いてください。
　（お湯を使うときは①を開き②を閉じてください。）
2．**各じゃ口（湯水混合せん）**③を少しだけ開いて「糸引き」状態で水を少しずつ流し続けてください。

〈再びご使用になるときは〉

1．**各じゃ口（湯水混合せん）**③、**ストップバルブ**②を閉じてください。
2．**ストップバルブ**①を開いてください。

【お知らせ】
○「水を少量流し続ける方法（A）」を行っているときは、お湯は使用できません。

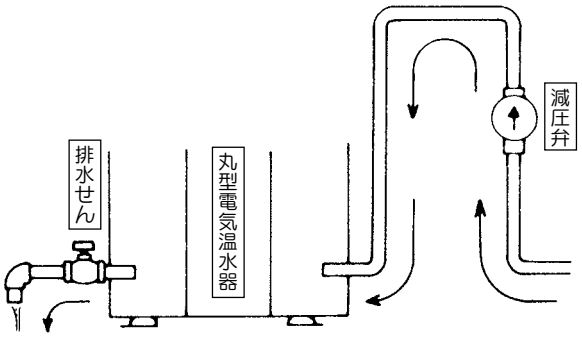


3. 水を少量流し続ける方法（B）

各じゃ口（湯水混合せん）や排水せんを少しだけ開いて「糸引き」状態で水を少しずつ流し続けることにより配管内の凍結を予防する方法です。

●翌日に湯を使用しない場合
温水器本体にある漏電しゃ断器電源レバーを「切」にし、じゃ口（湯水混合せん）から少しずつ流してください。
再びご使用になるときは、じゃ口（湯水混合せん）を閉じ、漏電しゃ断器電源レバーを「入」にしてください。

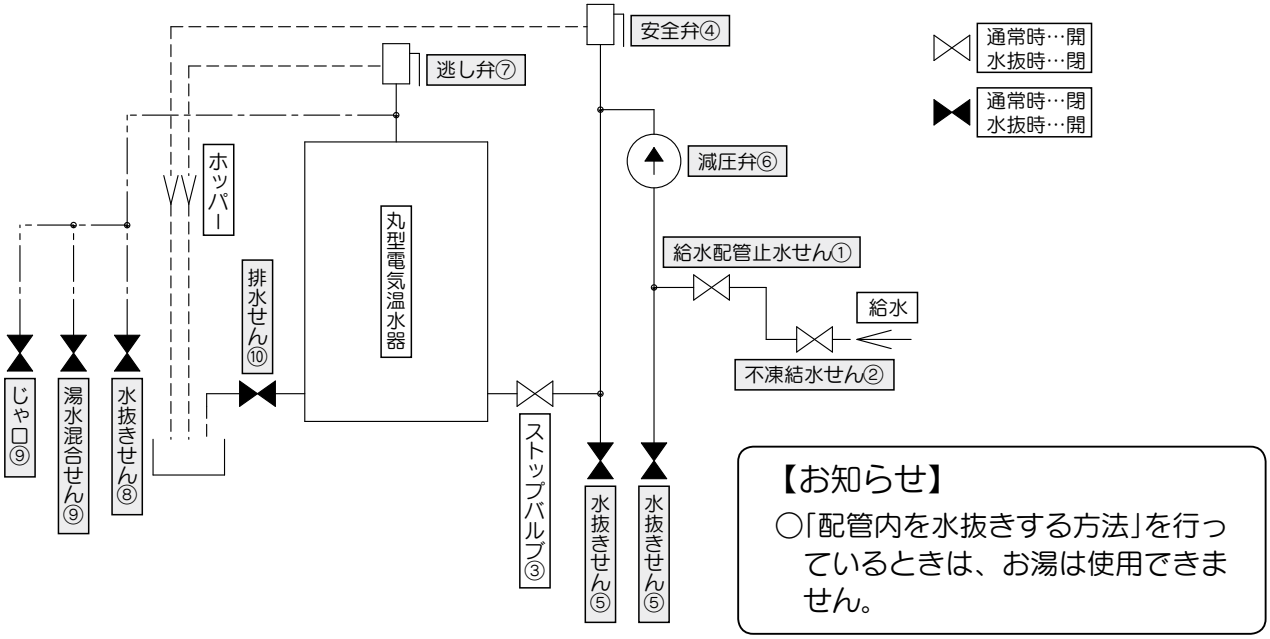
●翌日に湯を使用する場合
温水器の排水せんを少し開き、少しずつ流してください。
ただし、給湯配管は凍結予防できません。
また、少し沸き上がり温度が低くなることがあります。
再びご使用になるときは、排水せんを閉じてください。



〈排水せんから少量流し続ける〉

4. 配管内を水抜きする方法

給水・給湯配管内の水を抜き凍結を予防する方法です。



【お知らせ】
○「配管内を水抜きする方法」を行っているときは、お湯は使用できません。

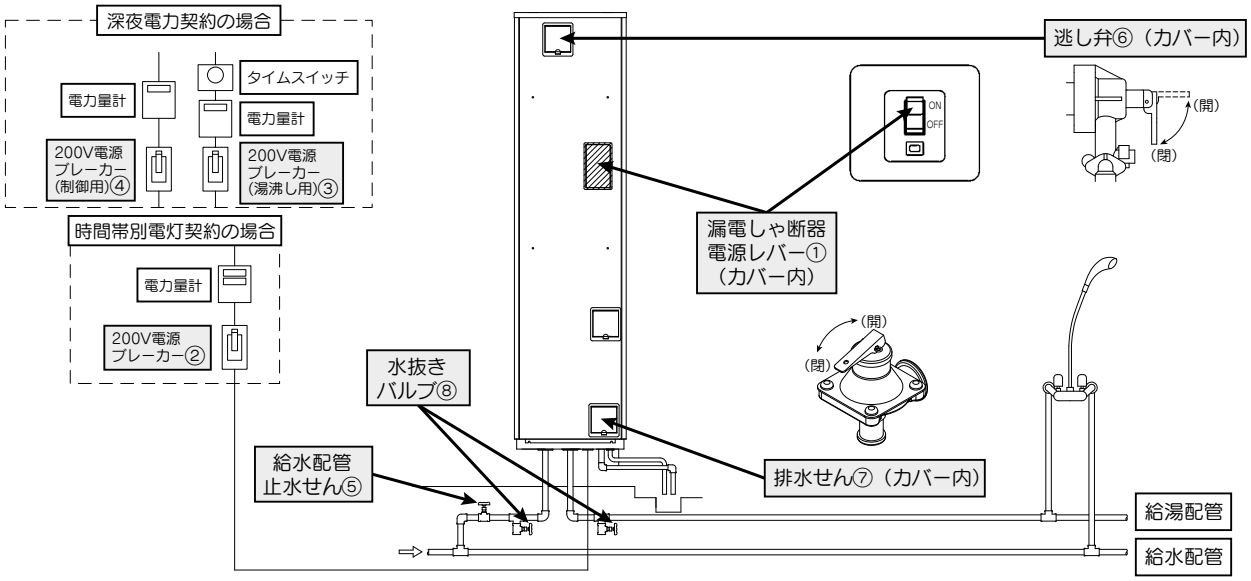
●水抜き方法
1．**給水配管止水せん**①を閉じ、**不凍結水せん**②を閉じてください。
2．**ストップバルブ**③を閉じ、**安全弁**④のレバーを上げ、**水抜きせん**⑤を開いてください。
3．**減圧弁**⑥の負圧作動弁部を押し込んでください。（減圧弁によっては負圧作動弁ではなく、水抜きせんや押上げ棒が付いているタイプがあります。その場合、水抜きせんを開くか押上げ棒を押し込んでください。）
4．**逃し弁**⑦のレバーを上げ、**水抜きせん**⑧、**じゃ口（湯水混合せん）**⑨を開いてください。
5．**排水せん**⑩を開き、15 ～ 20L 程度（約 2 分間）温水器の水を抜いた後、**排水せん**⑩を閉じてください。

〈再びご使用になるときは〉
1．**逃し弁**⑦のレバーを下げ、**水抜きせん**⑤⑧を閉じてください。
2．**減圧弁**⑥の負圧作動弁部を引き出してください。（減圧弁⑥が水抜きせんが付いているタイプの場合、水抜きせんを閉じ、押上げ棒がついているタイプの場合、押上げ棒を引き出してください。）
3．**安全弁**④のレバーを下げてください。
4．**不凍結水せん**②を開き、**給水配管止水せん**①、**ストップバルブ**③を開いてください。
5．**じゃ口（湯水混合せん）**⑨から水が連続的に出ることを確認して**じゃ口（湯水混合せん）**⑨を閉じてください。

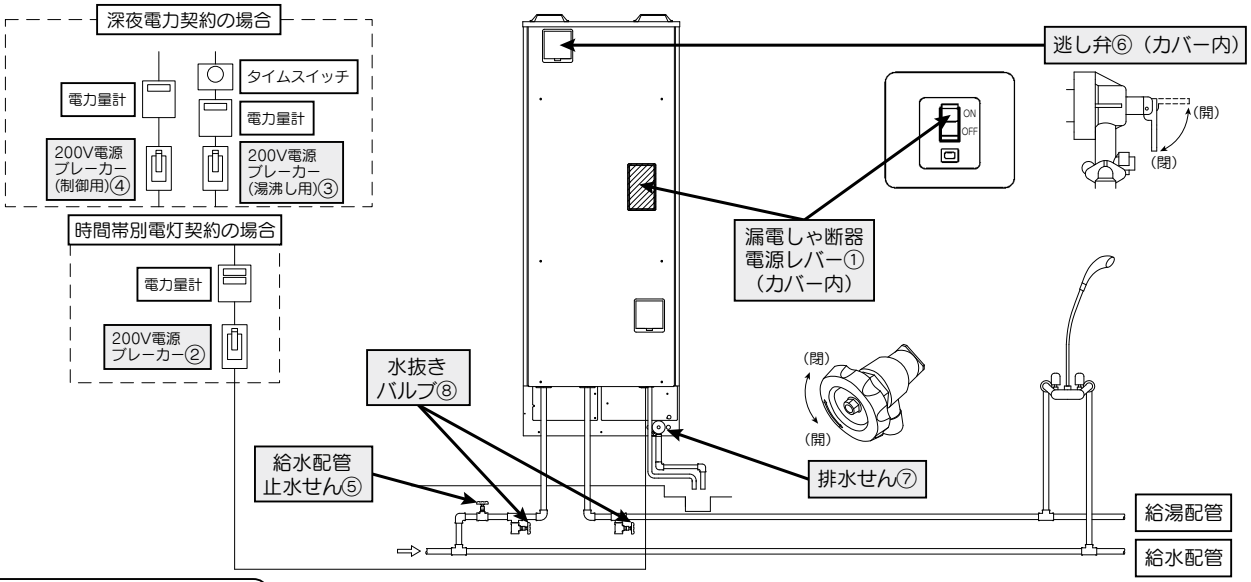
使用しないときは

角型（配管内蔵）

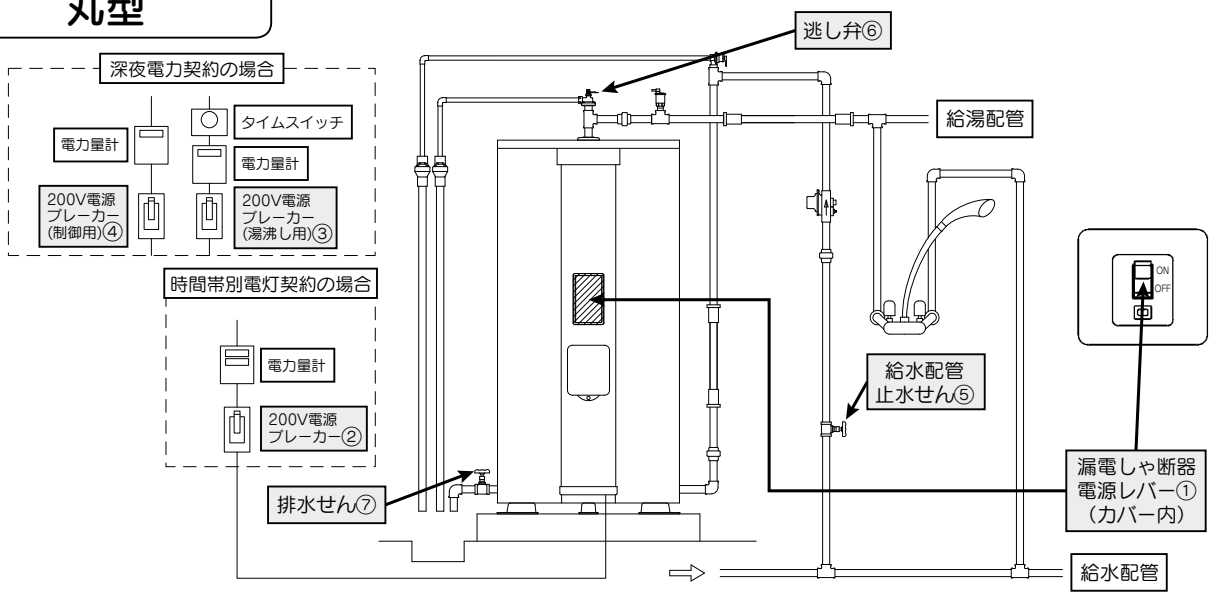
EM-1514K-R、EM-2014K-R、EM-2014K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。



EM-3014 K、EM-3714K、EM-4614K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。



丸型



長期不使用時（温水器を 1 か月以上使用しないとき）

凍結によるタンクや配管の破損、水漏れの防止とタンク内の水を清潔に保つために水抜きをしてください。

⚠ 警告

■作業時は、熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

ご注意

■熱いお湯を流しますと排水管を損傷するおそれがありますので、お湯を使い切ってから排水してください。

1. 温水器の漏電しゃ断器電源レバー①を「切」にします。
2. 温水器用の 200V 電源ブレーカー②（深夜電力契約の場合③、ただしコントローラが接続されている場合は④も）を「切」にします。
3. 給水配管止水せん⑤を閉めます。
4. 逃し弁⑥のレバーを上げます。
5. 排水せん⑦を開きます。（EM-1514K-R、EM-2014K-R、EM-2014K の場合は排水せん⑦のレバーを上げます。）

   排水するのに約 20 分～ 50 分ほどかかります。
   （タンク容量等により異なります。）
   給水配管、給湯配管に水抜きバルブ⑧が設けられている場合は、タンク排水後に開けて、配管内の水抜きを行ってください。

   ⚠ 警告

   ■排水時は、排水せんのハンドルやレバー以外の部分やお湯に手を触れないでください。

再びご使用になるときは ➡ P9 準備

短期不使用時（温水器を 1 か月未満で使用しないとき）

1. 漏電しゃ断器電源レバー①と温水器用の 200V 電源ブレーカー②（深夜電力契約の場合は③、ただしコントローラが接続されている場合は④も）を「切」にします。
2. 給水配管止水せん⑤を閉じます。

再びご使用になるときは、タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

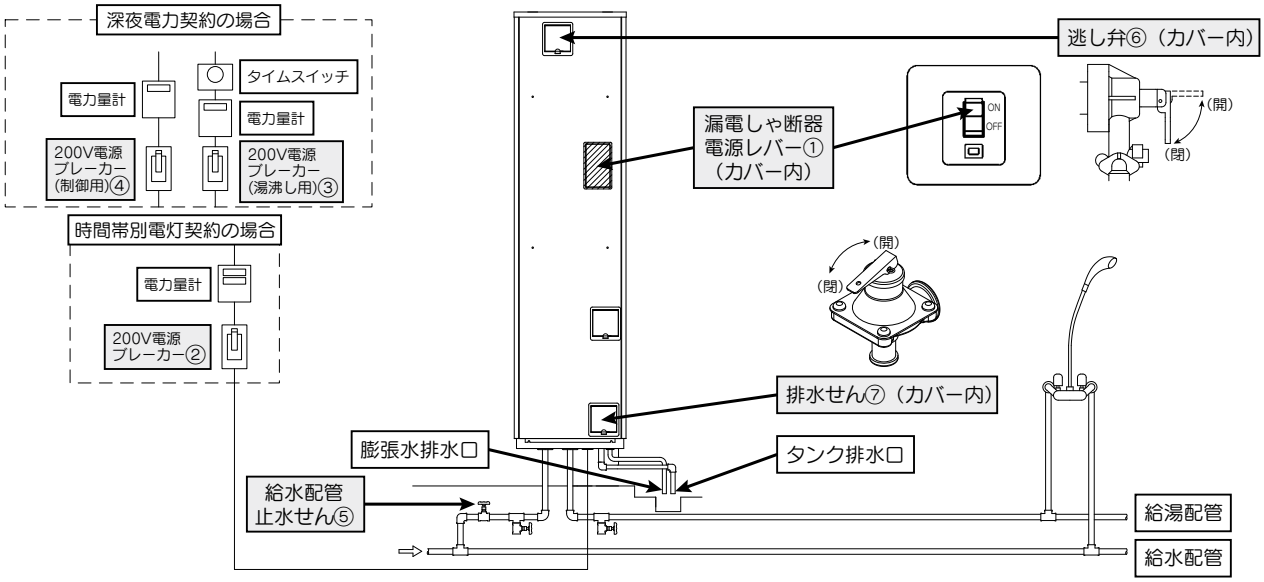
ご注意

■凍結のおそれがあるときは、1 か月未満使用しないときでも「長期不使用時」の項にしたがってください。

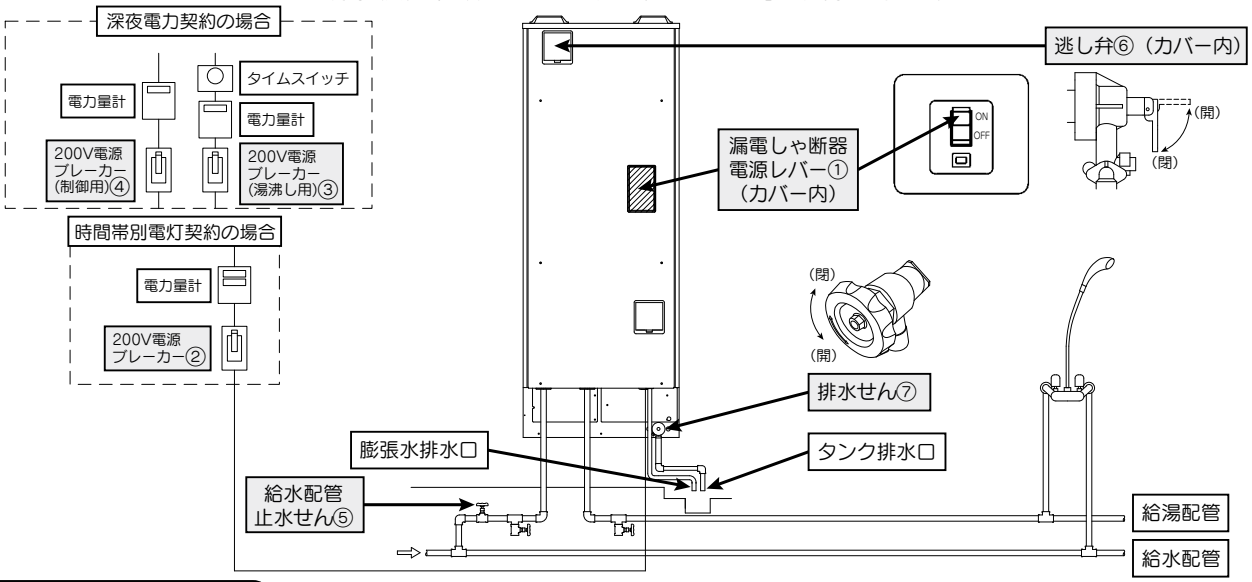
日常のお手入れ

角型（配管内蔵）

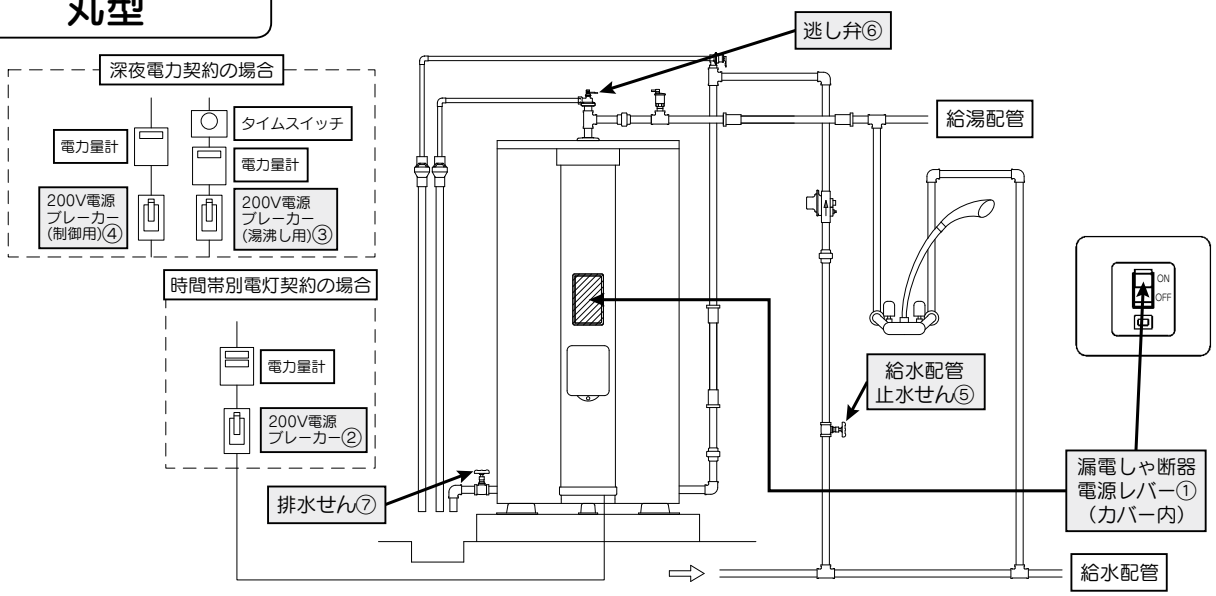
EM-1514K-R、EM-2014K-R、EM-2014K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。



EM-3014 K、EM-3714K、EM-4614K
※漏水検知仕様は、型式の末尾に「L」が付きます。



丸型



長く快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが必要です。
安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋などの着用をおすすめします。

タンク内の清掃（1年に2～3回）

⚠ 警告

■作業時は、熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

ご注意

■熱いお湯を流しますと排水管を損傷するおそれがありますので、お湯を使い切ってから排水をしてください。

1. 温水器の漏電しゃ断器電源レバー①を「切」にします。
2. 温水器用の200V電源ブレーカー②（深夜電力契約の場合は③、ただしコントローラが接続されている場合は④も）を「切」にします。
3. 給水配管止水せん⑤を閉じます。
4. 逃し弁⑥のレバーを上げます。
5. 排水せん⑦を２分程度開け（EM-1514K-R、EM-2014K-R、EM-2014Kの場合は排水せん⑦のレバーを上げます。）、タンク下部にたまった汚れを流し出します。

   ⚠ 警告

   ■排水時は、排水せんのハンドルやレバー以外の部分やお湯に手を触れないでください。
6. 排水がきれいになったら排水せん⑦を閉じます。（EM-1514K-R、EM-2014K-R、EM-2014Kの場合は排水せん⑦のレバーを戻します。）
7. 給水配管止水せん⑤を開き、膨張水排水口より水が勢いよく出れば逃し弁⑥のレバーを戻します。

   ⚠ 警告

   ■膨張水排水口より熱い湯が出ることがありますので、やけどにご注意ください。
8. 温水器用の200V電源ブレーカー②（深夜電力契約の場合は③、ただしコントローラが接続されている場合は④も）を「入」にします。
9. 漏電しゃ断器電源レバー①を「入」にします。

日常のお手入れ

配管の確認（日常）

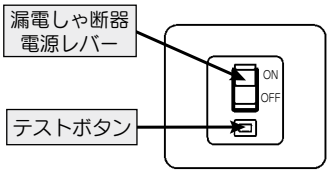
配管の保温材破損や水漏れなどがないか確認します。
マンションなどの中・高層住宅で水漏れが起きた場合、階下に被害を及ぼすことがあります。

漏電しゃ断器の動作確認（1年に2～3回）

漏電しゃ断器の点検は電源供給中（200 V電源ランプ点灯中）に行ってください。

1 漏電しゃ断器のテストボタンを押します。

電源レバーが自動的に「切（OFF）」になれば正常です。



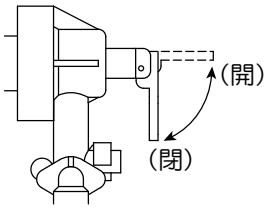
2 電源レバーを「入（ON）」に戻します。

⚠ 警告
■漏電しゃ断器が故障のまま使用すると漏電時に感電するおそれがあります。 ■濡れた手で操作しないでください。感電するおそれがあります。

逃し弁の確認（1年に2～3回）

1 湯沸しをしていないとき（本体操作部のヒーター通電中ランプが消灯しているとき）に、膨張水排水口から水（お湯）が出ていないことを確認します。

2 逃し弁操作部のカバーを開け、逃し弁のレバーを上げて膨張水排水口から水（お湯）が出ることを確認します。



3 レバーを下げて排水が止まることを確認します。

⚠ 警告
■膨張水排水口より熱いお湯が出てくることがありますので、やけどに注意してください。

停電・断水・水道工事のときは

停電のとき

・停電中に給湯することはできますが、湯沸しはできません。
・時間帯別電灯契約でご使用の場合、停電復帰後にコントローラの時刻を確認してください。

ご注意（時間帯別電灯契約でご使用の場合）

■時刻が設定されていないと、湯沸しできません。
■時刻が正しく設定されていないと電気料金が割高になることがあります。
■➡コントローラ EM-1 の取扱説明書をご確認ください。

断水・水道工事のとき

・断水や水道工事のときは、給水配管止水せんを閉じてください。
・断水や水道工事終了後、じゃ口（湯水混合せん）の水側を開けて、濁った水が出なくなったのを確認してから給水配管止水せんを開けてください。

ご注意

■濁った水が温水器本体内に入ると、お湯の出が悪くなったり、タンク内のお湯を濁らせてしまう場合があります。

定期点検のおすすめ（有料）

温水器を長年にわたり安心して快適にご使用いただくためには、専門技術者による定期点検整備をおすすめします。定期点検整備は、機能部品、消耗部品などの点検、交換、清掃を行います。
逃し弁、減圧弁など、設置条件、使用条件、特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な点検が必要です。
長年にわたり（10 年程度）使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品を保有していますが、長年使用されている場合、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

定期点検整備のお申し込みやお問い合わせは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

定期点検整備の主な内容

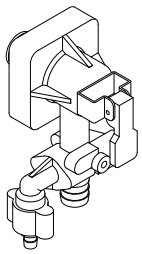
項　目	内　　容
据付状態の点検	配管接続部の水漏れ確認、電気絶縁チェック、配管保温材の確認、設置面の確認
機能部品の点検	逃し弁の水漏れ確認、減圧弁の確認、電気部品（配線・導通）動作確認
清掃・整備	タンク下部のスケール沈殿物の排出、ストレーナ（フィルター）の清掃、機能部品の清掃

消耗部品について

逃し弁、減圧弁などは消耗部品です。水質によっては、3 年程度で劣化する場合もあります。
点検の結果、部品交換に要する費用は、お客様にご負担いただきます。

逃し弁

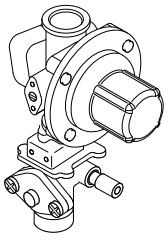
水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



逃し弁（角型用）

減圧弁

水質によっては､減圧弁のダイヤフラム（ゴム製）の弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して圧力調整不良の原因になりますので交換が必要です。



減圧弁（角型用）

○その他の消耗部品：パッキン類・その他弁関係

故障・異常の見分けかたと処置方法

故障かな？と思ったら

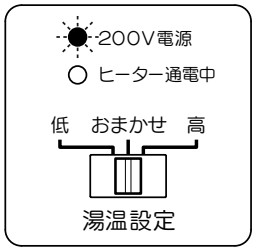
こんなとき	原因	処置
お湯が出ない お湯の出が悪い	断水している	水道局にお問い合わせください （断水が終わるまでお待ちください）
	給水配管止水せんが閉じている	給水配管止水せんを開いてください
	配管が凍結している	販売店にご相談ください
	減圧弁のストレーナが目詰まりしている	
お湯が沸かない	200V 電源ブレーカーが「切」になっている	「切」になっているときは「入」にしてください ※2、3度続く場合は故障のおそれがありますので、販売店にご相談ください
	本体の漏電しゃ断器電源レバーが「切」になっている	
	＊コントローラの湯沸し停止日数が設定されている	コントローラ EM-1 の取扱説明書を確認し、設定を解除してください
	＊コントローラの時刻が設定されていない	コントローラ EM-1 の取扱説明書を確認し、設定を行ってください
お湯がぬるい	湯温設定が使用量よりも少なめになっている	湯温設定を適当な湯温に設定しなおしてください（➡ P11 ）（コントローラを取り付けている場合は、コントローラの湯沸しモード設定が優先されます）
	配管などから水が漏れている	販売店にご相談ください
	いつもに比べてお湯を使いすぎている	翌日までお待ちください または時間帯別電灯で契約されている場合は、沸増しの設定を行い、沸増しをしてください （コントローラ EM-1 の取扱説明書を確認し、設定を行ってください）
	タンクの給水温度が低い	
	前日の夜間湯沸し中にお湯を使った	
	湯沸し中以外のときに、逃し弁の膨張水排水口からお湯や水が流れている	逃し弁を点検してください（➡ P21） ※湯や水が止まらないときは販売店にご相談ください
＊コントローラが表示しない	200V 電源ブレーカーが「 切 」になっている	「切」になっているときは「入」にしてください ※2、3度続く場合は故障のおそれがありますので、販売店にご相談ください
	停電している	停電が終わるまでお待ちください

※＊印はコントローラを取り付けている場合に確認していただく項目です。

故障・異常の見分けかたと処置方法

温水器本体のエラー表示

電気温水器に故障が起きた場合は、本体の表示ランプ「200V 電源」、「ヒーター通電中」が点滅し故障内容をお知らせします。
（200V 電源が供給されていないときは、エラー表示できません）



○：消灯　　：点灯　　：点滅

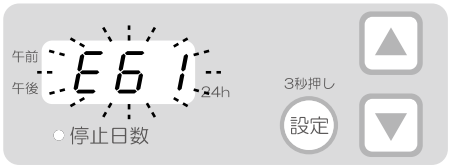
内容（原因）	200V 電源ランプ	ヒーター通電中ランプ	処　置
空焚き情報（タンクに水がない）	●	●	満水を確認してください
その他	●	※ ○	販売店に連絡してください（エラー表示が出ても湯沸ししますが、「高」設定の場合、沸き上げ温度は約 70 ℃になります）
	●	●	販売店に連絡してください

※ヒーター通電中はヒーター通電中ランプが点灯します。

コントローラにエラー表示された場合

コントローラ EM- 1（別売）を取り付けられた場合、コントローラの時刻表示部にもエラー内容を表示します。

＜エラー表示例＞
エラー表示（点滅）



■おしらせ表示（お客さまが対処できる表示です。以下の処置をしてください。）

エラー表示	内　容　（原　因）	処　置　方　法	エラー表示の解除方法
E61	空焚き情報（タンクに水がない）	満水を確認してください	200V 電源ブレーカー（深夜電力契約の場合は、制御用）の「切」後、「入」操作で解除
E81	湯沸し用電源の異常（電源が供給されない）	200V 電源ブレーカー、漏電しゃ断器が「入」になっているか確認してください	正常復帰時に自動解除

上記にしたがって処置しても、再び表示したり不具合がある場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。

■漏水検知仕様（型式の末尾に「L」がついているもの）のみに表示されるエラー表示（下記の処置をして、販売店に連絡してください。）

エラー表示	内　　容	処　置　方　法
E73	温水器内で水漏れしている可能性があります	200 V電源ブレーカーを切り、給水配管止水せんを閉じてから、お買上げの販売店にご連絡ください

■その他の表示（下記の処置をして、販売店に連絡してください。）

エラー表示	内　　容	処　置　方　法
E＊＊	温水器の点検が必要です	お買上げの販売店にご連絡ください その際は、製品名、品番、症状、エラー表示内容をあわせて連絡ください

※「＊＊」には、数字が表示されます。

アフターサービス

●サービス（点検・修理）を依頼される前に

故障・異常の見分け方と処置方法（➡P24、25）の項とよくあるご質問（➡裏表紙）をもう一度ご確認ください。確認のうえそれでも不具合のある場合あるいは不明な場合は、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

●保証について

・本製品には保証書がついています。（別添）
・「保証書」はお買い求めの販売店が、お買い上げ日など所定事項を記入しますので、記載内容をご確認いただき、保証規定をよくお読みのうえ大切に保管してください。
・保証期間であれば保証規定に従い、お買い求めの販売店が無料修理いたします。詳細は保証書をご覧ください。

保証期間は、お買い上げ日より
本体：1 年間、タンク：5 年間です。

●補修用性能部品の保有期間について

・この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後７年です。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●故障・修理の際の連絡先

・保証期間経過後、修理を依頼されるときは、まずお買い上げの販売店に相談してください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
・アフターサービスのご依頼や不明な点のお問い合わせは、お買い上げの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

修理のご依頼は、
『修理受付フリーダイヤル』
0120－557－910
受付時間　９：００～１８：００
（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

●修理を依頼される際のお願い

ご連絡いただく際は、できるだけ具体的に故障の状況をお知らせください。
また、電気温水器に貼付してあります製品名・品番・製造番号もあわせてお知らせください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	修理に使用した部品及び補助材料代です。
出張料	お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】
タカラスタンダード株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認のために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務等に委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

仕様

角型（配管内蔵）

品番 （機種名）		EM-1514K-R EM-1514K-RL	EM-2014K-R EM-2014K-RL	EM-2014K EM-2014KL	EM-3014K EM-3014KL	EM-3714K EM-3714KL	EM-4614K EM-4614KL
適用電力制度		時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力８時間（通電制御型）					
設置場所		屋内用		屋外・屋内兼用			
タンク容量		150L	200L	200L	300L	370L	460L
非常用有効貯水量		115L	155L	155L	210L	275L	365L
定格	電源	単相 200V 50/60Hz（湯沸し用・制御用共）					
	最大消費電力	2.013kW	2.403kW	2.403kW	3.403kW	4.403kW	5.403kW
	ヒーター消費電力	2.01kW	2.4kW	2.4kW	3.4kW	4.4kW	5.4kW
	制御用消費電力	3 W					
沸き上げ温度		高（88℃） 低（70℃） おまかせ（70 ～ 88℃）					
外形寸法（mm）	高さ	1900	1900	1900	1826	1860	2165
	幅	440	490	490	600	630	630
	奥行き	500	500	500	610	730	730
質量（kg）	本体	45kg	49kg	49kg	62kg	71kg	79kg
	満水時	195kg	249kg	249kg	362kg	441kg	539kg
給水方式		水道直結（減圧弁内蔵）					
最高使用圧力		100kPa					
減圧弁設定圧力		85kPa					
安全装置		漏電しゃ断器、温度過昇防止装置、アース端子					
本体操作部		湯温設定スイッチ（低、高、おまかせ）、漏電しゃ断器（電源レバー、テストボタン）					
本体表示部		200 V電源ランプ、ヒーター通電中ランプ					
接続口径	給水接続口	R 3/4 ねじ（20 A）					
	給湯接続口	R 3/4 ねじ（20 A）					
	タンク排水接続口	R 3/4 ねじ（20 A）			R 1/2 ねじ（15 A）		
	膨張水排水口	φ 16 ホース口					

※この製品は、ご希望により別売のコントローラ（コントローラ EM-1）を接続して使用することができます。
※この製品は、時間帯別電灯契約および深夜電力契約の電力制度に対応します。ただし、時間帯別電灯契約で使用の場合は、別売のコントローラ（コントローラ EM-1）が必要です。

丸型

品番（機種名）		EM-3713S	EM-4613S	EM-4713S	EM-5613S
適用電力制度		時間帯別電灯（通電制御型）／深夜電力８時間（通電制御型）			
設置場所		屋外・屋内兼用			
タンク容量		370L	460L	470L	560L
非常用有効貯水量		230L	320L	290L	380L
定格	電源	単相 200V 50/60Hz（湯沸し用・制御用共）			
	最大消費電力	4.403kW	5.403kW	5.403kW	6.403kW
	ヒーター消費電力	4.4kW	5.4kW	5.4kW	6.4kW
	制御用消費電力	3 W			
沸き上げ温度		高（88℃） 低（70℃） おまかせ（70 ～ 88℃）			
外形寸法（mm）	高さ	1670	2005	1670	1940
	幅	670	670	740	740
	奥行き	770	770	840	840
質量（kg）	本体	54kg	60kg	63kg	69kg
	満水時	424kg	520kg	533kg	629kg
給水方式		減圧弁方式			
最高使用圧力		100kPa			
減圧弁設定圧力		85kPa			
安全装置		漏電しゃ断器、温度過昇防止装置、アース端子			
本体操作部		湯温設定スイッチ（低、高、おまかせ） 漏電しゃ断器（電源レバー、テストボタン）			
本体表示部		200 V電源ランプ、ヒーター通電中ランプ			
接続口径	給水接続口	R 3/4 ねじ（20 A）			
	給湯接続口	R 3/4 ねじ（20 A）			
	タンク排水接続口	R 3/4 ねじ（20 A）			

※この製品は、ご希望により別売のコントローラ（コントローラ EM-1）を接続して使用することができます。
※この製品は、時間帯別電灯契約および深夜電力契約の電力制度に対応します。ただし、時間帯別電灯契約で使用の場合は、 別売のコントローラ（コントローラ EM-1）が必要です。

よくあるご質問

●夜間になってもすぐに湯沸ししない

残湯がある場合や湯温設定が低い場合は、自動的に湯沸し開始を遅らせて、朝方に沸き上がるようにします。（ピークシフト機能）

●設定した湯沸し温度まで上がらない（お湯の減りがはやい）

次の場合、設定温度まで沸き上がらないことがあります。
・夜間時間帯に湯温設定を上げた場合
・ヒーター通電中にお湯を使用した場合
・給水温度が低く残湯量が少ない場合

●お湯から油が出る、お湯が臭い

初めてご使用のとき、湯や水に油が浮くことがあります。これは、配管工事の際の油が残っているためです。約一週間使用しますと消えて正常になります。

●浴槽の水が青く見える

・光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。
・銅配管から溶出したわずかな銅イオンによって浴槽や洗面部材などが青くなることがありますが、異常ではありません。これは使用地域の水質や温水器などの銅配管から溶け出した微量の銅イオンが湯あかや石けん等の脂肪酸と反応して、青い銅石けんとなって付着するためです。（人体に害はありません。）

●お湯が白く濁って見える

水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されるため、細かい気泡となって出てくる現象で、全くの無害です。

●膨張水排水口からお湯が出ている

ヒーター通電中（ヒーター通電中ランプ点灯時）に膨張水排水口より湯が出てくるのは、故障ではありません。タンク内の水が湯になるときの膨張水が逃し弁から排水され膨張水排水口に出ます。
一晩で約５Ｌ～１７Ｌ程度排水されます。（タンク容量等により異なります。）

愛情点検　※　長年ご使用の電気温水器の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	・設置場所が濡れている。 ・お湯がぬるい。 ・お湯が熱い。 ・漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。 ・湯沸し中以外に逃し弁、排水せんから水が漏れる。 ・その他、異常・故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、200Ｖ電源ブレーカーを切り温水器専用止水せんを閉じてから販売店（据付工事店）または、修理受付フリーダイヤルに点検・修理（有料）をご相談ください。

タカラスタンダード株式会社

〒536-8536 大阪市城東区鴫野東１丁目２番１号